



# 令和5年度 宮城県鹿島台商業高等学校

## 学校評価結果 — 自己評価・学校関係者評価 —

### I 実施状況

#### 1 自己評価（12月）

評価者の区分	対象・期間・方法
教職員（自己評価）	<p>&lt;対象&gt; 教職員（教員・事務職員・常勤講師・非常勤講師） ※ SC・SSW、育休職員等除く。</p> <p>&lt;期間&gt; 令和5年11月28日（火）～12月8日（金）</p> <p>&lt;方法&gt; 校務支援システム「アンケート」 ※ 全22項目・4段階評価（うち4項目は教職員独自質問） ※ 次年度の重点課題に係る選択式質問（1問） ※ 自由記述欄</p>
生徒（外部アンケート）	<p>&lt;対象&gt; 全学年</p> <p>&lt;期間&gt; 令和5年12月1日（金） ※ 当日欠席者は後日</p> <p>&lt;方法&gt; Web（Microsoft forms） ※ 全22項目・4段階評価（うち4項目は生徒独自質問） ※ 自由記述欄</p>
保護者（外部アンケート）	<p>&lt;対象&gt; 全学年（兄弟姉妹がいる場合は、1回の回答）</p> <p>&lt;期間&gt; 令和5年11月28日（火）～12月8日（金）</p> <p>&lt;方法&gt; Web（Microsoft forms）または調査票 ※ 全21項目・4段階評価（うち3項目は保護者独自質問） ※ 自由記述欄</p>

#### ※ 回答率

	対象人数	回答数	無回答	回答率	備考
教職員	44	44	0	100	
生徒	81	79	2	97.5	
保護者	76	72	4	94.7	兄弟等在籍5、Web31・調査票41

#### 2 学校関係者評価（2月）

評価者	対象・期間・方法
学校評議員	<p>&lt;実施日&gt; 令和6年2月7日（水） ※ 第2回学校評議員会</p> <p>&lt;方法&gt; 自己評価の集計・分析結果に係る協議（意見交換等） ※ 4領域9項目・「自己評価の適切さ」及び「改善策の適切さ」の観点から4段階評価</p>

Ⅱ 自己評価（分析・考察） ※ 集計結果等は資料末尾参照。

1 全体的傾向

(1) 自己評価（教職員）

- 前年度と比べて肯定的評価（1＋2：％）が増加した項目は、20項目であった（22項目中）。
- 肯定的評価が80％を超えた項目は、20項目であった。
- 10ポイント以上増加した項目は5項目であった、  
※ 1 スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程、6 活発な部活動、  
9 地域の伝統に根ざした特色ある学校づくり、16 学習評価に関する規程の周知、  
19 学習内容の理解に向けた授業づくり、20 学校やクラスの様子との連絡
- 肯定的評価が80％を下回った項目は2項目であった。  
※ 6 活発な部活動、7 活発な生徒会活動
- 10ポイント以上減少した項目はなかった。
- 次年度に向けた重点課題で最も高かったのは「指導と評価の一体化（観点別評価）」で、次いで「学び直し（基礎力向上）」「総合的な探究の時間・教科横断的学習」と続いた。
- 自由記述の内容は、主に次年度に向けた重点課題に関するものであった（6名）。  
〔内容〕
  - ・3 観点を踏まえた定期考査問題の作成（配点）と適切な成績処理
  - ・観点別評価の着実な取組（評価に関する基準・ツールの統一、打合せと情報共有等）
  - ・互見授業や授業に関する活発な意見交換
  - ・全ての授業で生徒による発表活動に取り組んだり、生徒が自ら考え、創意工夫したりする学習に取り組めるしつけづくり。
  - ・育てたい生徒像の確認と各教科における学習計画（探究活動や検定取得等含む）の点検・見直し。

(2) 外部アンケート（生徒）

- 前年度と比べて肯定的評価（1＋2：％）が増加した項目は、7項目であった（22項目中）。
- 肯定的評価が80％を超えた項目は、12項目であった。
- 10ポイント以上増加した項目は2項目であった、  
※ 1 スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程、20 校訓の認知度
- 肯定的評価が80％を下回った項目は10項目であった。  
※ 2 学ぶ意欲の向上と学力を身に付けられる授業、6 活発な部活動、  
7 活発な生徒会活動、8 有意義な学校行事、9 地域や伝統に根ざした学校づくり、  
11 学校便りなどによる情報公開、12 施設・設備の整備、14 充実した学校生活、  
20 校訓の認知度、21 学習の雰囲気
- 10ポイント以上減少した項目は5項目であった。  
※ 3 基本的生活習慣の指導、4 進路目標の明確化に向けた指導、  
11 学校便りなどによる情報公開、16 学習評価に関する規程の周知、  
21 学習の雰囲気
- 自由記述では、要望事項として下記の内容が見られた（4名）。  
〔内容〕
  - ・校内におけるスマートフォンの利用（利用規則）について
  - ・定期考査の出題内容の妥当性と事後対応について
  - ・本アンケートの質問項目数について

(3) 外部アンケート（保護者）

- 前年度と比べて肯定的評価（1＋2：％）が増加した項目は、16項目であった（21項目中）。
- 肯定的評価が80％を超えた項目は、17項目であった。
- 10ポイント以上増加した項目は5項目であった、  
※ 1 スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程、8 有意義な学校行事、  
11 学校便りなどによる情報公開、13 いじめ問題への対応、  
18 生徒や保護者の意見・要望を聞く機会
- 肯定的評価が80％を下回った項目は4項目であった。  
※ 6 活発な部活動、12 施設・設備の整備、13 いじめ問題への対応、  
20 PTA活動への関心
- 10ポイント以上減少した項目は1項目であった。  
※ 7 活発な生徒会活動
- 自由記述では、要望事項として下記の内容が見られた（8名）。また、学習活動や生活指導に関する謝意も見られた（4名）。  
〔内容〕
  - ・在校中に電車が臨時運休となった場合の学校待機について
  - ・文化祭の保護者用駐車場の確保について
  - ・帰宅時間が遅くなる場合の家庭への連絡について
  - ・資格取得に向けた指導や申込み手続き（納金）に係る対応
  - ・廃部となった部活動の再開
  - ・少人数の利点を活かした行事等の運営、生徒と教職員の積極的な活動
  - ・本アンケートの選択肢について（「わからない」の設定）

2 各項目の考察 ※ 集計結果等は資料末尾参照。

(1) 共通項目 ※ 【 】は質問項目No。

【1】スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程の実践

- 自己評価（教職員）における肯定的評価は、前年度と比べて13.8ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると16.5ポイント高く、保護者との比較では6.9ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて20.5ポイント増加、保護者では31.2ポイント増加した。
- スクールミッションやスクールポリシーの内容は教育目標を基本としており、学習指導をはじめとする各教育活動の実践に当たっては、それらとのつながりを十分に考慮しながら対応を進めてきた。また、大崎地区唯一の商業高校として、地域協働を軸に置いた「魅力ある学校づくり」を推進し、カリキュラム・マネジメントに取り組んで引き続き、本校が地域社会で果たすべき役割について教職員間の共通理解を図り、生徒や保護者から信頼される学校運営に当たっていききたい。  
なお、スクールミッションやスクールポリシーはホームページに掲載し、広く周知している。

【2】学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられる授業の実践

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて9.3ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると15.8ポイント高く、保護者との比較では12.2ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて9.2ポイント減少、保護者では4.0ポイント減少した。
- 多くの教員が開かれた授業運営（互見授業）に努め、意見交換をするなど相互研鑽に努めた結果と思われる。また、授業公開週間や研究授業の実施も高い水準の維持に影響したものと考えられる。しかし、外部アンケートの生徒では前年度に比べて減少していることから、今後も不断の授業改善・工夫が求められる。学年別に見ると、1学年の肯定的評価は100%であるのに対し、2学年は63.0%、3学年は66.7%であった。引き続き「授業評価アンケート」を効果的に活用し、「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」の実現に向けて授業改善に努める必要がある。
- 1学年「数学入門」（1単位）や放課後学習（学習サポーター）等の基礎学力向上に向けた取組は他校からも注目され、青森県立十和田工業高等学校（数学科）が視察来校した。
- 各教科の授業において、上記の内容に取り組むとともに、各学年で実施している朝学習や放課後学習を継続し、学ぶ楽しさを味わわせ、わかる喜びやできる自信をもたせることができるよう努めていく。

【3】基本的生活習慣の指導の充実

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて4.7ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると9.9ポイント高く、保護者との比較では2.2ポイント低かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて10.4ポイント減少、保護者では1.3ポイント減少した。
- 頃からTPOに応じた挨拶・言葉遣い、制服の着こなし等について指導してきた。また、年度始めや衣替えの時期には、登校時に服装等の一斉指導を行ったり、交通指導（通学マナーの指導）等に取り組んできた。長期休業前には全校集会や各ホームルームで生活全般に関する指導を行うとともに、長期休業明けには生徒の状況を観察し、必要に応じて個人面談をするなどしてきた。
- 校外で問題が発生した場合は、生徒指導部の教員が現場に赴き、個別指導や巡回を行ったり、事後情報共有した学校への指導を行ったりした。また、重大な事故・事件につながる恐れがある事案が発覚した場合は、状況に応じて警察等の関係機関にすみやかに情報提供し、生徒の安全確保に努めてきた。
- 外部アンケートの生徒・保護者とも肯定的評価が80%超え、高い水準にあることから、学校が求める生徒像やその具現化に向けた生活指導について一定の理解が得られているものと考えられる。引き続き、全教職員による細やかな支援・指導に取り組み、生徒の健全育成に努めていく。

【4】進路目標の明確化に向けた指導

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて8.1ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると14.2ポイント高く、保護者との比較では7.4ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて10.3ポイント減少、保護者では4.4ポイント増加した。
- 外部アンケートの生徒について、学年別に見ると3学年で肯定的回答が低い傾向を示した。これは、アンケート実施の12月時点で4名が進路決定していなかったことが影響したものと考えられる。また、2学年については、就業体験実習（インターンシップ）を7月に実施したものの、本格的な進路学習は1月以降に実施してあったものと推察される。  
なお、3年生の就職指導等については、就職支援担当教員による個別面談や夏季休業期間中の実践的内容の指導、全教職員による面接指導を行っている。
- 「未来セミナー」や「就業体験実習」、「ものづくり企業見学会」、「反貧困学習」等の各活動の充実を図るとともに、職業理解を深めたり、よりよい生き方・在り方について考えたりする場面を

多くもたせ、キャリア教育の推進を図ってきた。また、本年度は新たな活動として、「おおさき産業フェア」への参加を実施した（1・2学年対象）。

○進路指導部と各学年の緊密な連携のもと、引き続き特別活動（ホームルーム活動や学校行事）や「総合的な探究の時間」を要とした系統立てた進路学習を实践し、生徒に将来の見通しをもたせられるよう支援・指導に努めたい。

#### 【5】教育相談体制の整備・充実（SC・SSWの活用）

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて4.7ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると11.7ポイント高く、保護者との比較では9.1ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて0.9ポイント増加、保護者では1.4ポイント増加した。
- 自己評価及び外部アンケートともに肯定的評価は高い水準にある。本年度は、外部専門家であるスクールカウンセラー（SC）とスクールソーシャルワーカー（SSW）の2名を配置しており、カウンセリング等の教育相談が実効的に機能しているものと考えられる。
- 「保健だより」や「カウンセラーだより」を定期的に発行し、SCやSSWの勤務日を生徒・保護者に伝えている。また、担任や学年主任等が、生活上の課題や生きづらさを抱えている生徒に對して、SCやSSWへの相談を積極的に促していることも高評価につながったものと考えられる。

#### 【6】活発な部活動

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて15.7ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると18.8ポイント低く、保護者との比較では12.4ポイント低かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて15.1ポイント増加、保護者では6.3ポイント増加した。
  - 生徒数の減少により、特に運動部については恒常的な部員不足の状況にあるため、個人競技以外で学校単独で大会に参加できる部は少ない。そのような中でも、サッカー一部では同様の状況にある他の高校と合同練習を行ったり、合同チームとして各種大会に参加したりするなどしてきた。
  - 次年度以降も入学生動向や活動実績、教職員や生徒の意見等を踏まえながら、休部や廃部も視野に入れた持続可能な部活動の在り方について検討を進めると考えられる。
- ※ 令和5年度部活動数 運動部：8部、文化部：5部、ボランティア（随時活動）

#### 【7】活発な生徒会活動（※ 委員会活動含む）

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて8.2ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると2.5ポイント低く、保護者との比較では6.1ポイント低かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて6.9ポイント増加、保護者では14.4ポイント減少した。
- 学校行事等への企画・運営については、生徒会執行部（生徒会役員）を中心に組み立てているが、各種委員会についても積極的に行事運営に参画するよう指導している。
- 図書委員会の「読み聞かせボランティア」については、コロナ禍により前年度まで実施回数を制限してきたが、5類移行に伴い本年度は6回実施することができた。
- 校内外のボランティア活動としては、広長地域環境保全隊（かしまだいしなイモツゴ郷の米つくりの会）の協力のもと保健委員会が中心となって取り組んだ「校内花壇植栽活動」、大崎市鹿島台子ども育成連合会が主催した「キッズフェスティバル鹿島台」における「おしごとたいけんコーナー」の企画参加や「お化け屋敷」のボランティアに取り組んだ。
- 生徒数が減少している状況にあることから、本校単独の実施が困難な場合は、近隣の高校との合同実施等も視野に入れながら、行事の企画・運営を検討していく必要性もあると考えられる。

#### 【8】有意義な学校行事の実施

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて9.3ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると18.3ポイント高く、保護者との比較では1.1ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて8.1ポイント増加、保護者では18.3ポイント増加した。
- コロナ禍の影響により、前年度まで全校体制で実施する入学式や卒業式等の儀式的行事、体育祭や文化祭等の体育的・文化的行事について、規模縮小や実施形態を工夫するなどして実施してきた。特に生徒の肯定的評価が高まったのは、従前の形態による学校行事の実施や新規の取組等に挑戦できたことが影響しているものと考えられる。
- 生徒数が減少している状況にあることから、本校単独の実施が困難な場合は、近隣の高校との合同実施等も視野に入れながら、行事の企画・運営を検討していく必要性もあると考えられる。

#### 【9】地域や伝統に根ざした特色ある学校づくり

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて12.6ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると15.7ポイント高く、保護者との比較では2.3ポイント高かった。



○経年劣化の進行により、不具合の発生率が高くなってきているが、生徒の安全確保を最優先に維持管理を行っている。外部アンケートの生徒の結果では、学年によって状況の受け止め方に違いが見られるものの、全体的には施設・設備の維持管理状況については概ね理解を得ているものと捉える。次年度以降も生徒が安心して過ごすことができる環境づくりに努めていきたい。

### 【13】いじめ問題への対応

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて3.4ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると7.0ポイント高く、保護者との比較では15.3ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて0.3ポイント減少、保護者では13.6ポイント増加した。
- 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、教職員による観察や定期的実施している「学校生活アンケート」等による早期発見・早期対応に努めるとともに、ホームルーム活動等を通して、いじめの未然防止に向けた指導に取り組んできた。  
※ 学校生活アンケートは、本年度よりWebフォームによる回答方法とした（簡易8回、詳細4回実施）。
- いじめ（疑いを含む）を認知した場合は、生徒指導部を中心とした関係生徒への対応、管理職や担任との情報共有を行い、組織的対応を進めることができるよう体制を整備している。具体的対応は「いじめ問題検討委員会（生徒指導部所管）」を中心に進めているが、「教育相談委員会」における関連情報も参考にして、いじめ等の問題行動について一面的にとらえることなく関係生徒の家庭環境や生活状況（長期欠席・不登校含む）等の背景も踏まえて状況を把握するよう努めてきた。
- 今後も教職員はもちろんのこと、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）との連携も踏まえ、より実効的な生徒指導体制となるよう情報連携と行動連携に努めていきたい。

### 【14】充実した学校生活（総合満足度）

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて8.0ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると19.2ポイント高く、保護者との比較では1.9ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて5.4ポイント減少、保護者では9.9ポイント増加した。
- わかる喜びやできる自信をもたせるための個に応じたきめ細かな学習指導（資格取得・放課後学習含む）、自己肯定感を高められるような生活指導や特別活動の工夫等に取り組んでいるところであるが、部活動において生徒の興味・関心や中学校までの経験を十分に活かすことができない状況が、生徒の肯定的評価の低下につながったものと考えられる。部活動については、在籍生徒数や指導者の配置、施設・設備の問題などの課題があることから早急な改善は難しいが、持続可能な体制整備を重点とし、ボランティア活動や地域貢献活動など、生徒が活躍できる場をより多くもたせていきたい。

### 【15】資格取得に向けた指導の充実

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて4.7ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると2.1ポイント低く、保護者との比較では10.4ポイント低かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて7.7ポイント減少、保護者では4.3ポイント増加した。
- 外部アンケートの生徒で肯定的評価が減少しているが、特に2学年における減少が大きい。各生徒の選択科目により、資格取得に向けた課外講習等を受ける機会が変化したことが影響したものと考えられる。
- 本校で取得を推奨している資格検定は、主に商業の各分野に関するものであるが、教科によって教科横断的な視点で資格取得につながる知識・技能（技術）の育成を目指す取組もしている。
- 国語科が主体となって漢字検定の受検を積極的に働きかけ、本校を会場として多くの生徒を受検させることができた。
- 各種検定等の資格は生徒の学習目標となったり、合格した際に味わうことのできる達成感や向上心を喚起し、次の学びに向けた自信にもつながる。引き続き、様々な関わりから基礎学力の向上を図るとともに、課外講習等を適切に実施し、個に応じた指導を充実させていきたい。

### 【16】学習評価に関する規程の周知

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて12.8ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると12.0ポイント高く、保護者との比較では2.4ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて10.3ポイント減少、保護者では4.4ポイント増加した。
- 年度始めの授業で「シラバス」を活用して評価規定を説明し、「指導と評価の一体化」を目指した授業運営（観点別評価）に努めてきたところであるが、2・3学年で肯定的評価が低い傾向が見られた。今後も前述の取組を継続するとともに、定期考査前等の節目に改めて周知するなどしていきたい。  
なお、各科目の履修（欠課時数）や成績（欠点）に課題が見られる生徒については、状況に応じて保護者同席のもと改めて評価規定の説明・確認を行っているが、今後も丁寧な対応を進めていきたい。

## 【17】進路情報の適切な伝達

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて6.9ポイント増加した。また、外部アンケートの生徒と比較すると16.5ポイント高く、保護者との比較では9.7ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて9.1ポイント減少、保護者では3.0ポイント増加した。
- 本年度は「進路だより」の発行回数を増やし、保護者面談等における活用を促すなど、情報提供が良くなった。また、2・3学年の保護者を対象に実施した「保護者進路説明会」の出席率が学年別で見ると、3学年では肯定的評価が高い水準にあるが、2学年では否定的評価が他学年と比べて高い傾向にあり、生徒のニーズに応じた情報が十分でなかったと推察される。個人面談や保護者面談だけでなく、生徒一人ひとりに応じた有益な情報を提供できるように、進路指導室の有効活用についても積極的に指導していきたい。

## 【18】生徒や保護者の意見を聴取する機会

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて2.2ポイント減少した。また、外部アンケートの生徒と比較すると6.1ポイント高く、保護者との比較では3.4ポイント高かった。外部アンケートの生徒では前年度と比べて2.8ポイント減少、保護者では11.4ポイント増加した。
- これまでも、日頃から担任を中心とした生徒のきめ細かな観察や面談等に努めてきたところであるが、より丁寧な対応を進めていきたい。また、保護者に対しては、7月の保護者面談（三者面談）を中心に生徒の家庭生活の様子や養育に係る不安や悩みを聴いたり、相談に応じたりしている。その他、全校生徒を対象とした「校長面談」の実施や年間を通じた教育相談体制（SC・SSW）の充実に努めているところである。引き続き、教職員と生徒の信頼関係を大切にしながら、生徒の健全育成を目指して保護者（家庭）との緊密な連携を図っていきたい。

## (2) 独自項目 ※ 【 】は質問項目No。

### ① 教職員

## 【19】学習理解を深めるための授業改善

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて16.2ポイント増加した。
- 多くの教科で、チームティーチング等によるきめ細かな指導や生徒のニーズに応じた個別指導などに取り組んできたためと考えられる。また、ICTの活用にも長けている教員が研究授業をすることで他の教員の参考となり、全体的なICT活用能力が向上したことも要因として考えられる。また、新学習指導要領に基づく観点別評価の導入から2年を経過し、「指導と評価の一体化」の視野に入れながら授業改善に取り組んできた結果と考えられる。
- 引き続き各教科の特性に応じて、「生徒」を主語においた教材研究や指導方法の工夫・改善に取り組む、一人ひとりの生徒が主体的に学習に臨むことができるようにしたい。また、各教科の担当者間で、育成を目指す資質・能力や適切な観点別評価の在り方（評価ツールや評価計画等）を改めて確認するなどして共通理解を図っていきたい。

## 【20】学校全体やクラスの様子に係る情報の適切な伝達（生徒・保護者等）

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて15.0ポイント増加した。
- 各学年においては、日頃から担任を中心に生徒の生活状況（欠席・学習成績）等に応じて、保護者に随時連絡している。また、学校だよりの発行や新聞等の報道記事により、保護者等に対して本校の教育活動を広く伝えることができているものと考えられる。
- ホームルーム等における情報伝達の手段としてデジタルツールを積極的に活用したり、丁寧な説明を繰り返したりするなどの工夫も肯定的評価の向上につながったものと考えられる。

## 【21】目指す教師像の実現

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて1.2ポイント減少した。
- 教職員一人ひとりが高い自覚のもと、生徒にとって身近な大人（ロールモデル）として、職務に当たっているものと考えられる。また、月1回のコンプライアンスチェック（アンケート調査）を実施し、日頃から自己点検と相互牽制に取り組んでいるものと思われる。引き続き、生徒にとって「なりたい大人」に相応しい教師像を目指して、教育活動に当たっていききたい。

## 【22】学習指導や特別活動等の教育活動への積極的な取組

- 自己評価における肯定的評価は、前年度と比べて5.9ポイント増加した。
- 各分掌部や各教科をはじめ、各学年においても、学習のねらいや各活動のめあて等を達成できるように不断の見直し・改善を図りながら、職務に当たっているものと考えられる。また、日常の生活指導においても細やかな声かけを心がけ、教職員間で適切に情報提供を行いながら、対応を進めることができているものと考えられる。



### ③ 保護者

#### 【19】生徒の取組や教員の指導など授業への関心

- 外部アンケートの保護者で、前年度と比べて8.6ポイント増加した。
- 例年PTA総会時の授業参観(4月)やの授業公開週間(年2回:5・10月)を実施している。本年度の参観状況はPTA総会時で例年並み、5月の授業公開週間で1学年の保護者が数名来校した。また、鹿商祭(一般公開)や学習成果発表会に足を運んでいただいた保護者も多く見られたことから、よい傾向にあると考えられる。
- 保護者の教育活動に対する関心は高まっていることから、学校だより等による積極的な情報公開に加えて、気軽に足を運んでいただけるような工夫を検討し、開かれた学校づくりを推進したい。

#### 【20】PTA活動への興味・関心(保護者の参画意識)

- 外部アンケートの保護者で、前年度と比べて7.2ポイント増加した。
- PTA役員の方には、PTA活動の活性化に向けて教育活動等に多くの御支援・御協力をいただいていた。本年度は、鹿商祭で豚汁・紅白餅を生徒に提供し、生徒や来場者から好評を得ることができた。
- 肯定的評価の状況から、PTA活動への興味・関心は高まりつつあると考えられるが、各家庭の状況により、学校に足を運びにくい現状も推察される。今後も保護者の教育活動への参画意識を高め、生徒の健全育成のために教職員と保護者が連携し、各活動を展開できるよう工夫していきたい。

#### 【21】親子間(家庭内)の学校生活に関する会話(親子関係)

- 外部アンケートの保護者で、前年度と比べて2.6ポイント減少した。
- 肯定的評価が高い水準にあることから、生徒を介して学校生活の状況や学校からの連絡事項等が、保護者に十分に伝わっているものと考えられる。一方、家庭によっては、保護者の仕事等により、親子で過ごす時間を十分に確保することが難しいことも推察されるので、引き続き気軽に学校に連絡・相談できる関係づくりに努めていきたい。また、家庭教育や養育に関する不安や悩み等がある場合は、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の助言を得ながら必要な支援を行っていきたい。

Ⅲ 工夫・改善の方向性

領域	項目	方向性	
1 学習指導	①学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられる授業の実践	生徒の自己評価や授業評価の結果を踏まえた不断の見直し、研究授業（互見授業等）の実施やICTの利活用も含めた指導方法の工夫等に積極的に取り組み、指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力の向上を図るための教材研究と指導方法（ICTの利活用等）の工夫（研究授業・互見授業の開かれた授業の推進）</li> <li>○授業評価や振り返りシート（生徒の自己評価）等を活用したPDCAサイクルに基づく不断の授業改善</li> <li>○学習の見通しをもたせるための「シラバス」の活用と観点別評価の実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 教科担当者間における評価基準等の共通理解と実践</li> </ul> </li> <li>○少人数及びチームティーチングの利点を十分に活かした個に応じたきめ細かな学習指導（互いに認め合い、学び合う支持的風土の醸成）</li> <li>○グループワーク（話し合いや発表活動）等の積極的導入によるコミュニケーション能力の育成と「主体的・対話的で深い学び」の実践</li> <li>○生徒のニーズに合わせた学習空間の調整（特別支援教育の視点等）</li> </ul>
	②資格取得に向けた指導の充実	学習を通して身に付けた知識・技能等を十分に活かせるよう課外講習の時間を確保し、個に応じた指導に取り組む。	
	③わかる喜び、できる自信を、実感させる授業の工夫・改善	チームティーチングを効果的に行い、学習の理解度（習熟度）に応じた学習指導を実践するとともに、放課後学習等を通じて個別の学習支援に取り組む。	
2 生徒指導	①挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立	教師が日頃からロールモデルとして積極的な挨拶等を実践するとともに、服装の着こなしや礼儀作法、ルールやマナー等について説得力のある細やかな指導を行う。また、必要に応じて家庭と連携の上、個別の指導を講じ、粘り強く改善を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の小さな変化や問題の兆候を見逃さない丁寧な観察と適切な支援・指導（情報共有と行動連携）               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 教育相談（SC・SSW）の効果的活用（支える生徒指導の実践）</li> </ul> </li> <li>○自分と他者を大切にす豊かな心の醸成</li> <li>○問題行動等に対する説得力のある指導</li> <li>○生徒会執行部や各種委員会による各種行事等の企画</li> <li>○少人数の利点を活かし、生徒一人ひとりが活躍できる学校行事の運営の工夫</li> <li>○学校行事等への主体的な参加と自己肯定感・有用感をもたせるための運営の工夫</li> </ul>
	②活発な生徒会活動や部活動	生徒会執行部や各種委員会については、対外的な行事も含めて活動の場をより多くもたせ、学校生活への主体的な参画を促す。部活動については、年間を通じて安定した活動ができない状況にあるが、ボランティアや地域貢献に係る活動への参加も含め活躍の場を与える。	
	③有意義な学校行事の工夫・運営	新型コロナウイルス感染症に係る制限が緩和されたことから、従前の形態による行事運営に戻しつつ、生徒がより積極的に参加できるよう小規模校の利点を生かした工夫・改善に取り組む。	
3 進路指導	①進路目標の明確化に向けた適切な指導	「総合的な探究の時間」における各種セミナーやガイダンス、就業体験実習等の進路探求に関する学習を充実させ、よりよい在り方生き方を主体的に求める態度をはぐくむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合的な探究の時間」や特別活動を要とした体系的なキャリア教育の推進</li> <li>○「進路の手引き」の効果的な活用と進路指導室の利活用の促進</li> <li>○高校生活3年間を見通した主体的な進路選択に向けた支援</li> <li>○個人面談・三者面談を通じた個別のガイダンスとキャリアカウンセリングの実施</li> </ul>
	②進路に関する情報の提供	上記の活動に加えて「進路だより」の発行や進路指導室の効果的な活用、三者面談や保護者進路説明会を通じた情報発信・進路相談を充実させる。	

4 地域協働教育	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりの推進	商業科目や「総合的な探究の時間」等で身に付けた知識・技術を生かした教科横断的学習を推進する。また、関係機関等と連携の上「鹿島台互市」や「駅からハイキング」等の各活動に取り組むとともに、金融教育等の新たな試みも視野に入れた活動を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科における知識・技能等を教科横断的に活用できる能力の育成</li> <li>○地域の関係機関や学校等と連携した活動の推進（従前の取組の継続、中学校への出前授業等）</li> <li>○商業科を中心とした教科横断的な金融教育（学習）の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 金融教育研究校（令和5・6年度）</li> </ul> </li> <li>○保護者や地域住民との交流の機会（ボランティア等の社会貢献活動の推進）</li> </ul>
----------	------------------------	--	--

#### IV 学校関係者評価

##### 1 評価結果

領域	項目	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1 学習指導	①学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられる授業の実践	A	A
	②資格取得に向けた指導の充実	A	A
	③わかる喜び、できる自信を実感させる授業の工夫・改善	A	A
2 生徒指導	①挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立	A	B
	②活発な生徒会活動や部活動	B	B
	③有意義な学校行事の工夫・運営	A	B
3 進路指導	①進路目標の明確化に向けた適切な指導	A	A
	②進路に関する情報の提供	A	A
4 地域協働教育	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりの推進	A	A

##### 2 意見・助言等 ※ 第2回学校評議員会

- 様々な特色ある活動に取り組んでいることがわかった。引き続き生徒諸君が「この学校に入学してよかった」と思えるような学校運営に当たっていただきたい。
- 鹿商祭のPTAの豚汁提供は大変よかった。生徒も楽しんでいた。また、学校紹介PRコーナーもあり、来校者を迎え入れる温かな姿勢が見られた。
- オープンスクールの参加者数については残念であるが、学校に対する興味・関心や入学を希望する中学生を大切にしてほしい。習熟度別学習やチームティーチングは魅力の一つとなる。
- 生徒指導に係る重大事案が発生しておらず、校外におけるマナーも特に問題はない。厳しくも温かい指導を継続していただきたい。
- 各種進路行事やキャリア教育の取組は素晴らしいものと思う。提案や発表する場面を多くもたせることで自信がつく。今後も社会人との交流の場を多くもたせてほしい。
- 様々な家庭環境や問題を抱える生徒に引き続き寄り添った支援をお願いしたい。また、防災教育については自助の力を養っていただきたい。この点については、地域の防災士も活用してはどうか。
- 「駅からハイキング」や「互市」での取組を見させていただいた。巨大モザイク壁画も素晴らしい取組である。駅連絡通路の掲示については、今後も調整を図ってほしい。また、金融教育等の新たな試みについては、報道機関をうまく利用しPRに努めてほしい。鹿島台歴史研究会の助言を得ながら、地域学習の取組も充実させてほしい。
- 学習成果発表会を参観した。生徒諸君が様々なことを考え、取り組んできたことに感心した。発表の姿勢も堂々としていた。1年生の発表にあった「廃校利用」については、実現の可能性が期待できる内容で興味深かった。発表を聴く側の生徒の姿勢も大変よかったと思う。
- 学校全体の取組として、点数ではなく生徒の行動や内面をよく観て評価していることが素晴らしい。また、地域に根ざした取組を推進しており、大変よいことだと思う。様々な活動を通して、人間性を肯定的に評価し、このことが社会に出てから活かされることだと考える。高校生活では、社会に出てからどう学び生きていくのか、いわば豊かな感性を磨く場である。このことが強く生きる人間を育む上で大切である。基礎学力の向上と合わせて引き続き取り組んでいただきたい。

## 肯定的評価(1+2)集計一覧

質問No				質問項目	領域	分析担当	自己評価(%)					外部アンケート(%)					
自己評価	外部アンケ		県共通No				教職員			乖離度(R5)		生徒			保護者		
	教職員	生徒					保護者	R5	R4	増減	生徒	保護者	R5	R4	増減	R5	R4
1	1	1	1	スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程を編成・実践している。	教育課程	教頭・主幹	100	86.2	13.8	16.5	6.9	83.5	63.0	20.5	93.1	61.9	31.2
2	2	2	2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業をしている。	学習指導	教務	95.5	86.2	9.3	15.8	12.2	79.7	88.9	-9.2	83.3	87.3	-4.0
3	3	3	3	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	生徒指導	生徒指導	90.9	86.2	4.7	9.9	-2.2	81.0	91.4	-10.4	93.1	94.4	-1.3
4	4	4	4	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	進路指導	進路指導	97.7	89.6	8.1	14.2	7.4	83.5	93.8	-10.3	90.3	85.9	4.4
5	5	5	5	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制がつけられている。	教育相談	保健厚生	97.8	93.1	4.7	11.7	9.1	86.1	85.2	0.9	88.7	87.3	1.4
6	6	6	6	部活動は活発に行われている。	部活動	生徒指導	43.2	27.5	15.7	-18.8	-12.4	62.0	46.9	15.1	55.6	49.3	6.3
7	7	7	7	生徒会活動は活発に行われている。	生徒会活動	生徒指導	77.2	69.0	8.2	-2.5	-6.1	79.7	72.8	6.9	83.3	97.7	-14.4
8	8	8	8	有意義な学校行事が行われている。	学校行事	生徒指導等	95.5	86.2	9.3	18.3	1.1	77.2	69.1	8.1	94.4	76.1	18.3
9	9	9	9	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりが行われている。	特色ある学校づくり	教頭・主幹	95.4	82.8	12.6	15.7	2.3	79.7	82.8	-3.1	93.1	88.7	4.4
10	10	10	10	災害・非常時の避難方法や連絡方法等について適切に伝えている。	防災教育	保厚(防災主任)	97.7	89.6	8.1	9.1	7.4	88.6	93.8	-5.2	90.3	87.4	2.9
11	11	11	11	学校便りなどによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	教頭・主幹	97.7	96.6	1.1	18.0	3.3	79.7	93.8	-14.1	94.4	81.7	12.7
12	12	12	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	事務部	81.8	72.4	9.4	12.2	4.0	69.6	74.1	-4.5	77.8	80.3	-2.5
13	13	13	13	いじめ問題に対する取組方針を周知し、いじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	生徒指導	93.1	89.7	3.4	7.0	15.3	86.1	86.4	-0.3	77.8	64.2	13.6
14	14	14	14	生徒が充実した学校生活を送れるようにしている。	総合満足度	教頭・主幹	97.7	89.7	8.0	19.2	1.9	78.5	83.9	-5.4	95.8	85.9	9.9
15	15	15		資格取得に向けた指導が充実している。	学力向上	商業科等	84.0	79.3	4.7	-2.1	-10.4	86.1	93.8	-7.7	94.4	90.1	4.3
16	16	16		学習評価に関する規程(きまり)を生徒や保護者に周知している。	学習指導	教務	95.5	82.7	12.8	12.0	2.4	83.5	93.8	-10.3	93.1	88.7	4.4
17	17	17		進路に関する情報を適切に伝えている。	進路指導	進路指導	100	93.1	6.9	16.5	9.7	83.5	92.6	-9.1	90.3	87.3	3.0
18	18	18		生徒や保護者の意見や要望などを聞く機会を設けている。	学校への信頼	教頭・主幹	90.9	93.1	-2.2	6.1	3.4	84.8	87.6	-2.8	87.5	76.1	11.4
19				生徒が学習内容をしっかり理解できるよう授業づくりを工夫している。	授業改善	教務・各教科	95.5	79.3	16.2								
20				生徒や保護者に学校やクラスの様子を適切に伝えている。	情報発信	各学年	90.9	75.9	15.0								
21				日頃から、点鐘に応じた授業の始終や礼法等について指導するとともに、生徒の身近なロールモデルとして言動等に留意している。	目指す教師像	教頭・主幹	95.4	96.6	-1.2								
22				教育目標の達成に向けて、学習指導や特別活動等の教育活動に積極的に取り組んでいる。	校務運営・組織体制	教頭・主幹	95.5	89.6	5.9								
	19			教員は学習内容が分かるまで教えてくれる。	学習指導	教務・各教科						87.3	86.4	0.9			
	20			校訓を知っている。	愛校心	教頭・主幹						74.7	58.1	16.6			
	21			自分のクラスは、よい雰囲気や学習できる。	学習環境	各学年・教務						79.7	92.6	-12.9			
	22			自分の学校行事への取組は積極的である。	社会性・協調性	各学年・生徒指導等						83.5	85.1	-1.6			
		19		生徒の取組や教員の指導など、授業の様子に関心がある。	教育への関心度	教頭・主幹									91.7	83.1	8.6
		20		PTA活動に関心がある。	教育活動への参画	総務									45.8	38.6	7.2
		21		学校生活の様子を子どもと話題にする。	家庭環境・親子関係	各学年									91.7	94.3	-2.6

# 自己評価【教職員】(4段階)集計一覧

資料2-①

※ 回答数 44名分(事務室職員・非常勤講師を含む)。R4のデータは「わからない」を除く。

No	県共通No	質問項目	領域	分析担当	年度	1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	1	スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程を編成・実践している。	教育課程	教頭・主幹	R5	40.9%	59.1%	0.0%	0.0%
					R4	6.9%	79.3%	10.3%	0.0%
2	2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業をしている。	学習指導	教務	R5	34.1%	61.4%	4.5%	0.0%
					R4	10.3%	75.9%	10.3%	0.0%
3	3	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	生徒指導	生徒指導	R5	47.7%	43.2%	9.1%	0.0%
					R4	6.9%	79.3%	13.8%	0.0%
4	4	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	進路指導	進路指導	R5	54.5%	43.2%	2.3%	0.0%
					R4	24.1%	65.5%	10.3%	0.0%
5	5	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じしてくれる体制がとられている。	教育相談	保健厚生	R5	70.5%	27.3%	2.3%	0.0%
					R4	34.5%	58.6%	3.4%	0.0%
6	6	部活動は活発に行われている。	部活動	生徒指導	R5	9.1%	34.1%	34.1%	22.7%
					R4	3.4%	24.1%	48.3%	20.7%
7	7	生徒会活動は活発に行われている。	生徒会活動	生徒指導	R5	29.5%	47.7%	20.5%	2.3%
					R4	13.8%	55.2%	24.1%	3.4%
8	8	有意義な学校行事が行われている。	学校行事	生徒指導等	R5	52.3%	43.2%	4.5%	0.0%
					R4	24.1%	62.1%	10.3%	0.0%
9	9	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりが行われている。	特色ある学校づくり	教頭・主幹	R5	56.8%	38.6%	4.5%	0.0%
					R4	27.6%	55.2%	17.2%	0.0%
10	10	災害・非常時の避難方法や連絡方法等について適切に伝えている。	防災教育	保厚(防災主任)	R5	47.7%	50.0%	2.3%	0.0%
					R4	24.1%	65.5%	6.9%	0.0%
11	11	学校便りなどによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	教頭・主幹	R5	72.7%	25.0%	2.3%	0.0%
					R4	48.3%	48.3%	3.4%	0.0%
12	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	事務局	R5	43.2%	38.6%	18.2%	0.0%
					R4	20.7%	51.7%	27.6%	0.0%
13	13	いじめ問題に対する取組方針を周知し、いじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	生徒指導	R5	54.5%	38.6%	6.8%	0.0%
					R4	34.5%	55.2%	3.4%	0.0%
14	14	生徒が充実した学校生活を送れるようにしている。	総合満足度	教頭・主幹	R5	47.7%	50.0%	2.3%	0.0%
					R4	13.8%	75.9%	10.3%	0.0%
15	15	資格取得に向けた指導が充実している。	学力向上	商業科等	R5	54.5%	29.5%	15.9%	0.0%
					R4	17.2%	62.1%	13.8%	0.0%
16	16	学習評価に関する規程(きまり)を生徒や保護者に周知している。	学習指導	教務	R5	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%
					R4	17.2%	65.5%	17.2%	0.0%
17	17	進路に関する情報を適切に伝えている。	進路指導	進路指導	R5	52.3%	47.7%	0.0%	0.0%
					R4	17.2%	75.9%	6.9%	0.0%
18	18	生徒や保護者の意見や要望などを聞く機会を設けている。	学校への信頼	教頭・主幹	R5	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
					R4	13.8%	79.3%	3.4%	0.0%
19	19	生徒が学習内容をしっかり理解できるよう授業づくりを工夫している。	授業改善	教務・各教科	R5	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%
					R4	6.9%	72.4%	17.2%	0.0%
20	20	生徒や保護者に学校やクラスの様子を適切に伝えている。	情報発信	各学年	R5	38.6%	52.3%	9.1%	0.0%
					R4	13.8%	62.1%	17.2%	0.0%
21	21	日頃から、点鐘に応じた授業の始末や礼法等について指導するとともに、生徒の身近なロールモデルとして言動等に留意している。	目指す教師像	教頭・主幹	R5	38.6%	56.8%	4.5%	0.0%
					R4	34.5%	62.1%	3.4%	0.0%
22	22	教育目標の達成に向けて、学習指導や特別活動等の教育活動に積極的に取り組んでいる。	校務運営・組織体制	教頭・主幹	R5	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%
					R4	10.3%	79.3%	6.9%	0.0%

No	項目	R5
23	1 カリキュラム・マネジメント	18.2%
	2 学び直し(基礎力向上)	31.8%
	3 ICT利活用	22.7%
	4 学びの個別最適化	13.6%
	5 指導と評価の一体化(観点別評価)	38.6%
	6 生徒指導体制	22.7%
	7 キャリア教育・進路指導	18.2%
	8 特別活動(学校行事・生徒会活動等)	13.6%
	9 総合的な探究の時間・教科等横断的学習	25.0%
	10 部活動	11.4%
	11 地域協働教育	18.2%
	12 シチズンシップ教育	2.3%
	13 教育相談・特別支援教育	11.4%
	14 危機管理・防災教育	2.3%
	15 資格取得	13.6%
	16 PTA活動・保護者対応	4.5%
	17 コンプライアンス	2.3%
	18 働き方改革	15.9%
	19 校務分掌の調整(再編)	9.1%
	20 その他(24に具体的内容を記入)	2.3%
	無回答	2.3%

自由記述の記載内容
・3観点を踏まえた定期考査問題の作成(配点)と適切な成績処理
・観点別評価の着実な取組(評価に関する基準・ツールの統一、打合せと情報共有等)
・互見授業や授業に関する活発な意見交換
・全ての授業で生徒による発表活動に取り組んだり、生徒が自ら考え、創意工夫したりする学習に取り組めるしかけづくり。育てたい生徒像の確認と各教科における学習計画(探究活動や検定取得等含む)の点検・見直し

# 外部アンケート【生徒】(4段階)集計一覧

資料2-②

※ 回答数(全校生徒) 79名分

No	県共通No	質問項目	領域	分析担当	年度	1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	1	スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程(3年間の学習内容)が編成・実践されている。	教育課程	教頭・主幹	R5	26.6%	57.0%	7.6%	8.9%
					R4	17.3%	45.7%	19.8%	17.3%
2	2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	学習指導	教務	R5	29.1%	50.6%	11.4%	8.9%
					R4	28.4%	60.5%	7.4%	3.7%
3	3	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒指導	生徒指導	R5	32.9%	48.1%	12.7%	6.3%
					R4	34.6%	56.8%	7.4%	1.2%
4	4	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	進路指導	進路指導	R5	24.1%	59.5%	6.3%	10.1%
					R4	43.2%	50.6%	4.9%	1.2%
5	5	先生やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	教育相談	保健厚生	R5	35.4%	50.6%	6.3%	7.6%
					R4	30.9%	54.3%	12.3%	2.5%
6	6	部活動は活発に行われている。	部活動	生徒指導	R5	25.3%	36.7%	16.5%	21.5%
					R4	12.3%	34.6%	27.2%	25.9%
7	7	生徒会活動は活発に行われている。	生徒会活動	生徒指導	R5	29.1%	50.6%	12.7%	7.6%
					R4	18.5%	54.3%	19.8%	7.4%
8	8	自分にとって、有意義な学校行事が行われている。	学校行事	生徒指導等	R5	29.1%	48.1%	16.5%	6.3%
					R4	25.9%	43.2%	22.2%	8.6%
9	9	学校は、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	教頭・主幹	R5	27.8%	51.9%	11.4%	8.9%
					R4	23.5%	59.3%	13.6%	3.7%
10	10	災害・非常時の避難方法や連絡方法等が適切に伝えられている。	防災教育	保厚(防災主任)	R5	36.7%	51.9%	5.1%	6.3%
					R4	39.5%	54.3%	2.5%	3.7%
11	11	学校便りやホームページなどによって、学校の情報が適切に伝えられている。	開かれた学校づくり	教頭・主幹	R5	26.6%	53.2%	12.7%	7.6%
					R4	39.5%	54.3%	2.5%	3.7%
12	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	事務部	R5	24.1%	45.6%	15.2%	15.2%
					R4	21.0%	53.1%	19.8%	6.2%
13	13	学校は、日頃からアンケート調査や面談などを通して、いじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	生徒指導	R5	38.0%	48.1%	7.6%	6.3%
					R4	29.6%	56.8%	9.9%	3.7%
14	14	私にとって、学校生活は充実している。	総合満足度	教頭・主幹	R5	35.4%	43.0%	10.1%	11.4%
					R4	29.6%	54.3%	6.2%	9.9%
15	15	本校では、資格取得に向けた指導が充実している。	学力向上	商業科等	R5	44.3%	41.8%	7.6%	6.3%
					R4	44.4%	49.4%	4.9%	1.2%
16	16	学習評価(学習成績)に関する規程(きまり)が適切に伝えられている。	学習指導	教務	R5	34.2%	49.4%	11.4%	5.1%
					R4	33.3%	60.5%	4.9%	1.2%
17	17	進路に関する情報が適切に伝えられている。	進路指導	進路指導	R5	29.1%	54.4%	8.9%	7.6%
					R4	37.0%	55.6%	6.2%	1.2%
18	18	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	学校への信頼	教頭・主幹	R5	46.8%	38.0%	8.9%	6.3%
					R4	43.2%	44.4%	7.4%	4.9%
19	19	先生は、学習内容が分かるまで教えてくれる。	学習指導	教務・各教科	R5	45.6%	41.8%	7.6%	5.1%
					R4	32.1%	54.3%	11.1%	2.5%
20	20	本校の校訓を知っている。	愛校心	教頭・主幹	R5	31.6%	43.0%	15.2%	10.1%
					R4	27.2%	30.9%	27.2%	14.8%
21	21	私のクラスは、よい雰囲気での学習ができる。	学習環境	各学年・教務	R5	40.5%	39.2%	10.1%	10.1%
					R4	49.4%	43.2%	6.2%	1.2%
22	22	私は、学校行事(委員会活動含む)に積極的に取り組んでいる。	社会性・協調性	各学年・生徒指導等	R5	32.9%	50.6%	8.9%	7.6%
					R4	40.7%	44.4%	11.1%	3.7%

自由記述の記載内容

※ ○:肯定的意見、△:要望等

<1学年>  
△スマホ利用への要望(1)

<2学年>  
△未習内容の考査問題への出題(2科目)(2)及び本件に係る対応の差(1)  
△本アンケートの質問項目数について(1)

# 外部アンケート【保護者】(4段階)集計一覧

資料2-③

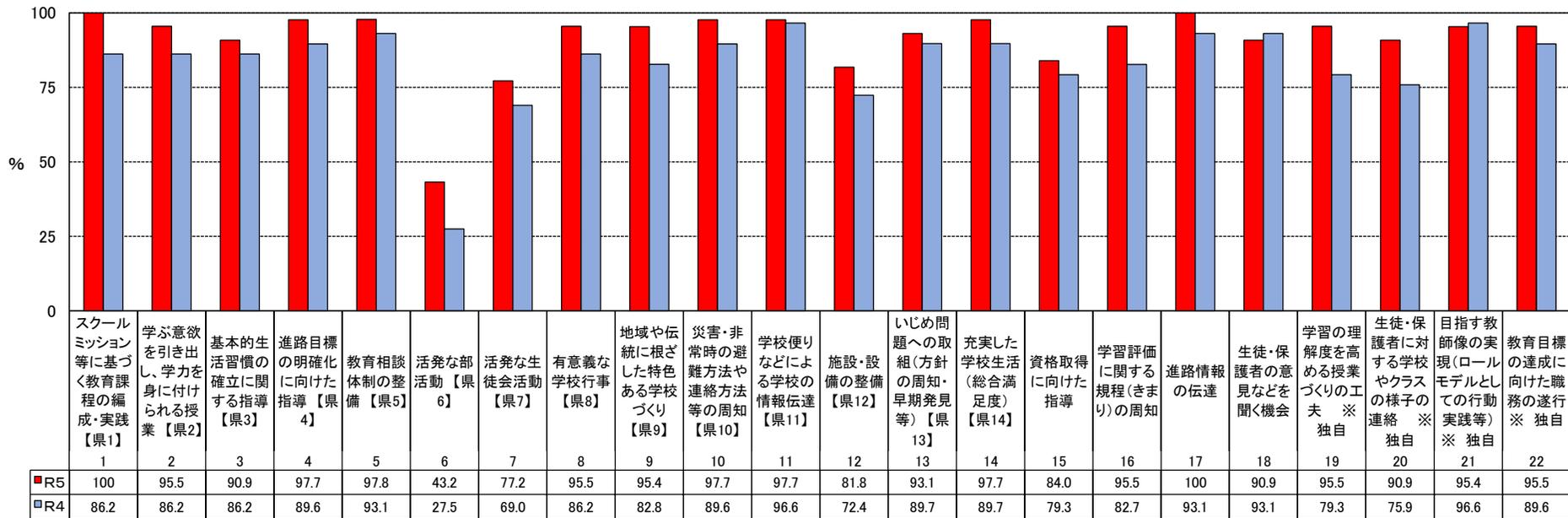
※ 回答数 71名分(兄弟姉妹在籍の場合は1回の回答)

No	県共通No	質問項目	領域	分析担当	年度	1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	1	本校は、スクールミッションやスクールポリシーに基づいた教育課程を編成・実践している。	教育課程	教頭・主幹	R5	18.1%	75.0%	6.9%	0.0%
					R4	7.0%	54.9%	33.8%	4.2%
2	2	お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	学習指導	教務	R5	31.9%	51.4%	16.7%	0.0%
					R4	32.4%	54.9%	12.7%	0.0%
3	3	本校では、生徒に対して挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	生徒指導	生徒指導	R5	33.3%	59.7%	5.6%	1.4%
					R4	28.2%	66.2%	5.6%	0.0%
4	4	お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	進路指導	進路指導	R5	30.6%	59.7%	8.3%	1.4%
					R4	35.2%	50.7%	14.1%	0.0%
5	5	本校では、生徒に対して教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	教育相談	保健厚生	R5	21.1%	67.6%	11.3%	0.0%
					R4	33.8%	53.5%	9.9%	2.8%
6	6	本校では、部活動が活発に行われている。	部活動	生徒指導	R5	8.3%	47.2%	36.1%	8.3%
					R4	21.1%	28.2%	38.0%	12.7%
7	7	本校では、生徒会活動が活発に行われている。	生徒会活動	生徒指導	R5	16.7%	66.7%	15.3%	1.4%
					R4	32.4%	56.3%	11.3%	0.0%
8	8	お子さんにとって有意義な学校行事が行われている。	学校行事	生徒指導等	R5	36.1%	58.3%	5.6%	0.0%
					R4	28.2%	47.9%	21.1%	2.8%
9	9	本校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	教頭・主幹	R5	44.4%	48.6%	6.9%	0.0%
					R4	32.4%	56.3%	11.3%	0.0%
10	10	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えている。	防災教育	保厚(防災主任)	R5	45.8%	44.4%	8.3%	1.4%
					R4	43.7%	43.7%	11.3%	1.4%
11	11	保護者に対して、学校便りやホームページなどによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	教頭・主幹	R5	32.4%	62.0%	4.2%	1.4%
					R4	33.8%	47.9%	16.9%	1.4%
12	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	事務部	R5	26.4%	51.4%	22.2%	0.0%
					R4	21.1%	59.2%	18.3%	1.4%
13	13	保護者に対して、いじめの問題に対する取組方針を周知し、いじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	生徒指導	R5	9.7%	68.1%	18.1%	4.2%
					R4	17.1%	47.1%	32.9%	2.9%
14	14	お子さんの学校生活は充実している。	総合満足度	教頭・主幹	R5	43.1%	52.8%	2.8%	1.4%
					R4	33.8%	52.1%	12.7%	1.4%
15	15	資格取得に向けた指導が充実している。	学力向上	商業科等	R5	58.3%	36.1%	5.6%	0.0%
					R4	53.5%	36.6%	9.9%	0.0%
16	16	保護者に対して、学習評価(学習成績)に関する規程(きまり)を周知している。	学習指導	教務	R5	34.7%	58.3%	6.9%	0.0%
					R4	35.2%	53.5%	9.9%	1.4%
17	17	保護者に対して、進路に関する情報を適切に伝えている。	進路指導	進路指導	R5	31.9%	58.3%	9.7%	0.0%
					R4	38.0%	49.3%	11.3%	1.4%
18	18	生徒や保護者の意見・要望などを聞く機会を設けている。	学校への信頼	教頭・主幹	R5	29.2%	58.3%	12.5%	0.0%
					R4	25.4%	50.7%	18.3%	5.6%
19	19	お子さんの学習の取組や教員の指導など、授業の様子に関心がある。	教育への関心度	教頭・主幹	R5	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%
					R4	25.4%	57.7%	15.5%	1.4%
20	20	PTA活動に関心がある。	教育活動への参画	総務	R5	4.2%	41.7%	40.3%	13.9%
					R4	5.7%	32.9%	37.1%	24.3%
21	21	お子さんと学校生活の様子を話題にする。	家庭環境・親子関係	各学年	R5	40.3%	51.4%	8.3%	0.0%
					R4	36.6%	57.7%	5.6%	0.0%

自由記述の記載内容	<p>※ ○:肯定的意見、△:要望等</p> <p>△電車の臨時運休の際の学校待機について(1)          △鹿商祭の保護者用駐車場の確保について(1)          △帰宅時間が遅くなる場合の家庭連絡について(平時)(1)          △資格取得に向けた指導、申し込み手続きに係る対応(未納者への事前の家庭連絡)(1)          △廃部となった部活動の復活(1)          △少人数の利点を活かした行事等の運営、生徒と教職員の積極的な活動(1)          △選択肢「わからない」の設定(2)          ○生徒への学習や生活指導等に対する謝意(4)</p>
-----------	---

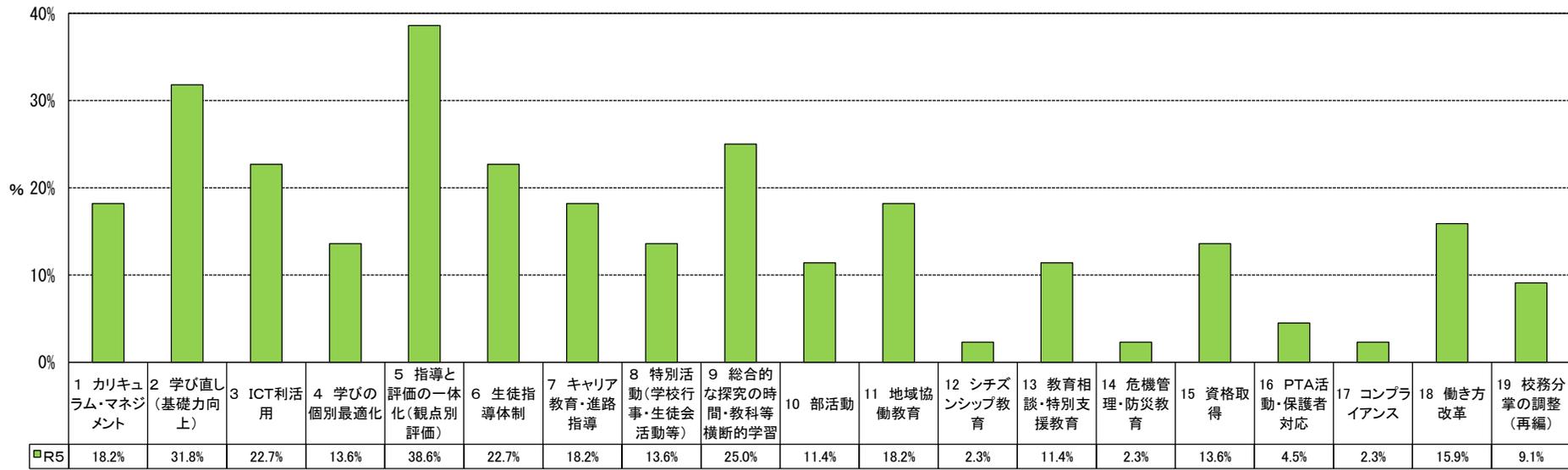
### 自己評価【教職員】の回答状況

※ 肯定的評価(1+2)の割合(%)・前年度比較



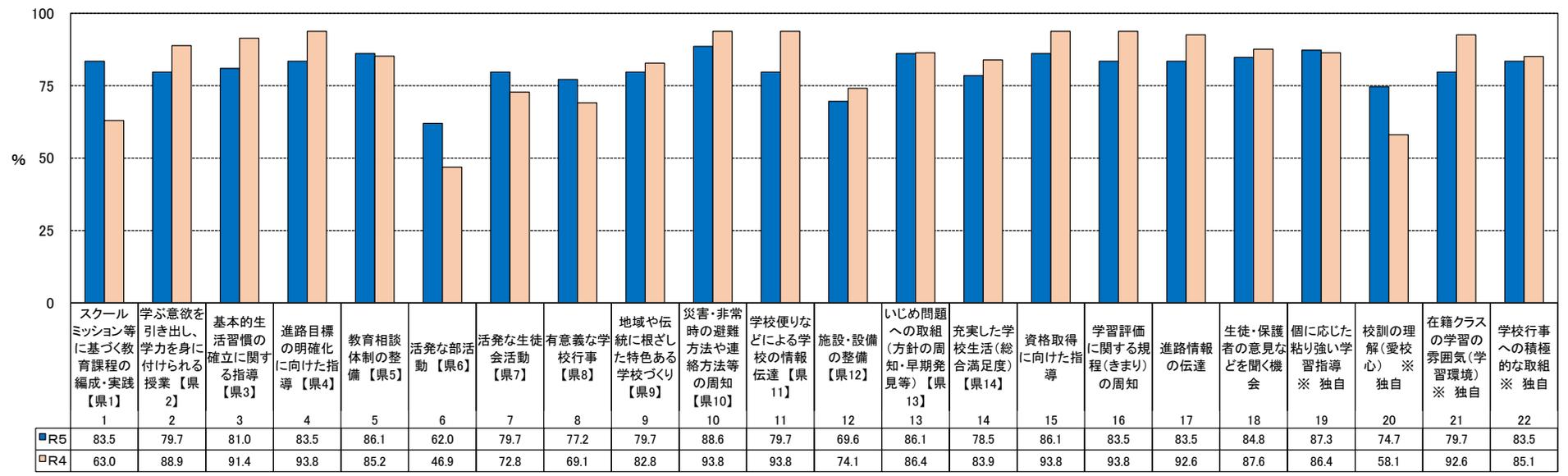
### <参考> 自己評価【教職員】次年度に向けた重点課題

※ 複数選択



### 外部アンケート【生徒】の回答状況

※ 肯定的評価(1+2)の割合(%)・前年度比較



### 外部アンケート【保護者】の回答状況

※ 肯定的評価(1+2)の割合(%)・前年度比較

